



hida

広 報

ひだ

町 木



第29号

肥 田 町
まちづくり委員会
H15.4.12発行

ご挨拶

自治会長 藤 野 良 一

春爛漫の季節、肥田町の皆様におかれましては、益々のご健勝ご発展の段御お慶び申し上げます。

このたび、浅学無知な私が町民皆様のご推挙をたまわり、自治会長の重責を仰せつかり身の引き締まる思いでございます。

時代は一段と厳しい時を迎えています。就任いたしました以上は微力ながら、役員各位、町民皆様のご指導を賜り肥田町の発展のため精いっぱい取組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

世界の移り変わりはこのところ激しいものがあります。いつテロや戦いが始まるか分からないニュースを耳にします。どうか世界が平和であってほしいと願わずにはいられません。

また日本も今日、深刻なデフレ不況の中、色々な影響を受けて雇用問題、リストラなど身近に不況の波も感じられ、わが国の経済や農業を取り巻く状況も決して明るいとは言えません。こんな時代こそ私どもが考えなければいけないことが沢山あります。

今、肥田町におきましても昨年に続いて農業対策の大事業が、平成16年の後期をめどに進められています。農業対策委員長を中心に各委員が、愛西土地改良の方にも来て貰って毎週の勉強会や説明会、また他町の苦労話など聞いて色々話し合いを重ね、より良い方向へと前向きに努力しております。先祖から委ねられたこの土地を、後世の子どもたちが農業を継いでくれた時「良かったなあ」と言ってくれるように、圃場整備が整いますように皆様の深いご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

これからの肥田町の発展を願った自治会活動をお互いに力を合わせて一つ一つ進めて参りたいと存じます。より一層のご鞭撻ご支援を賜りますよう役員共々よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を念じてご挨拶とさせていただきます。

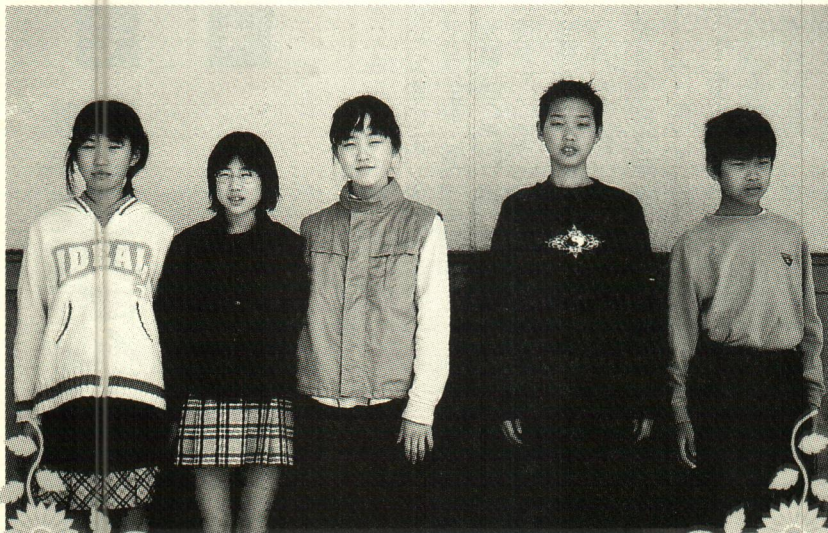


ご進学 祝 おめでとう

中学1年生

中学校では、新しいお友達も増えて、今までとはひとつ広い社会です。しっかり自分を創りましょう。

伊関	悠佳さん	(お父さん	新一さん)
薩摩	早紀さん	(お父さん	隆司さん)
薩摩	祐大さん	(お父さん	乃史さん)
中山	彦人さん	(お父さん	直 さん)
成宮	まゆさん	(お父さん	克豊さん)



平成15年度 ご入学おめでとう

うれしい ビカビカの1年生
大きくなったら わたしの夢は



鵜野 翔さん

お父さん…真明さん
お母さん…幸代さん

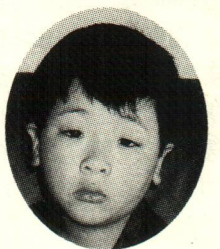
プロ野球選手になって、みんなに応援してもらいたいです。



成宮 和輝さん

お父さん…伊佐夫さん
お母さん…有加里さん

強い強い野球選手になりたいです。



筒井 智大さん

お父さん…隆智さん
お母さん…智恵子さん

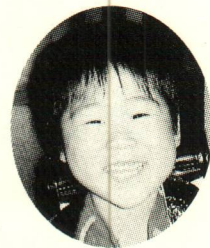
宝石屋さんになって、みんなに喜んでもらえるきれいな指輪やネックレスを作ります。



前田 晴香さん

お父さん…均さん
お母さん…淳子さん

とってもおいしいアイスクリーム屋さんになりたいです。



森野 紘平さん

お父さん…勉さん
お母さん…啓子さん

お医者さんになりたいです。みんなの病気をやがをなおしたいです。



元持 菜穂さん

お父さん…光正さん
お母さん…弘恵さん

ケーキ屋さんになりたいです。みんなにおいしいケーキを作ります。

みなさんの元気いっぱいの成長を祈ってます

新しい地域福祉の風

— 私たちに出来ることを探し

彦根市支え愛大學講座に学ぶ

最近では地域福祉という言葉が一般的に使われて来ましたが、地域福祉は先ず誰を対象にするかの問題より、誰が福祉サービスをするかがより問題です。福祉そのものは、個人とその家族が対処するのが原則のはずですが、今日では私の責任はここまでとか社会的な理由を持ち込んで綱引きをやっているケースが多くなっている。

地域福祉には、理由や言い訳を持ち込んではいけません。住民同志が地域福祉に関わるのは当たり前のことであるという自覚が先ず必要である。そこで住民同志が担うものは、丁度私の責任と社会の責任の間にあるコミュニティライフを支えあっている生活の場面を広げてあげることだと思ふ。支援してあげたい人、高齢な人が普通の暮らしを感じられるような「ふれあい」「つながり」の場面を、その人たちが一番慣れおられるその住まいの地域の中で用意してあげることである。行政では、まだまだそこまで手を届かすのが無理、期待出来ないところを地域の人や資源を活かしていくことの大切さがあり、そこにボランティアの役割が生まれてくるのである。

今日では行政の社会的な判断では、まだ不公平さを感じさせる制度サービスを、地域福祉がつくる判断のサービスで例えば自宅ではやもすると活かされていない高齢者の人の役割、存在価値を作りあげてあげること大切な仕事にはいる。その高齢の人たちは、それぞれに今日まで生きて来られた歴史もそれぞれに違う人たちであることと、

年を経てきての自尊心も当然に強いから、援助サービスにも遠慮を見せたりするし、他人から決められたり押し付けられることは嫌う。だから地域福祉で私どもが接していくには、いくつかの空間、場面を用意してあげることになる。

みんなの集いの場、同じテーブルにつくことで語り合う、言葉もどんどん出て来る。また屋外にも出てもらい自分を広く考える機会を、時間を作つてあげる、情報誌などを読んで提供して話題を広げてあげる。そのようにしてとにかく老人の持つ緊張感を解きほぐして、みんながワクワクする、笑いのある、自宅には無い新しい空間を時間を作つてあげることにある。

ボランティア活動は、町としては自治会と一体となり、地域の和を大切に、もちつもたれつの運動として根気良く続けていくことが何より力となる。

近隣の町でも頑張つておられる。例えば愛東の外町では友愛ボストで高齢者の「声」を拾う運動、私たちはこんなことに困っています、夜独りでいるのが怖い、緊急の時に助けてくれる人がいません、病院への循環バスが使いづらい、買い物などお隣に頼みづらいなどがある。送迎、買い物、話の相談相手訪問、ちよつとした掃除、簡単な介護の対応を図つておられる。

要は、目くばり、気くばり、小さなおせっかい支援で安心して暮らせる地域づくり運動である。

先ず地域福祉の風をおこすことで、広い理解と、なるほどの連帯感が、町の活動全体にもより温かみを加えることが出来る、肥田町ボランティアサークルも助走を始めています。皆さんのご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

彦根市支え愛大學に受講して

肥田町ボランティアサークル

運営委員会



「文化財防火デー」 火災防御訓練実施

1月26日、全国各地で火災から文化財を守ろうと火災防御訓練が行われた。肥田町でも彦根市消防本部の消防分団員により、重要文化財が保存されている崇徳寺を中心に火災発生を想定した訓練が行われた。その訓練を積まれた迅速で適切な対応ぶりに早朝より見学した多くの町民に感嘆と色々な教訓をいただきました。

町内には昨年、自治会において、昼間も含めての緊急の防災対応として防災委員会が整備され、町を自分達の手で自衛しようの気持ちが高められたが、今回の訓練を通して、地域によっては緊急時まだまだ給水の水の確保の問題、大型化の消防車の機能発揮のために道路幅に問題がないか、また防災訓練による役割分担の実地確認の必要などの課題の検討が迫られています。



BOOK紹介コーナー

「イラクの小さな橋を渡って」

光文社発行



芥川賞作家でもある池澤夏樹さんが本橋成一さんの写真を得て、「もし戦争になったときには、殺されるイラクの普通の人々の暮らし」を書いたものです。

2002年の秋に自分だけで企画したイラクへの旅で、北から南と回り取材され、既に切迫した国際情勢下におかれているイラクであったが、そのイラクの人々の表情の穏やかさが素直に画かれている。それだけに「いつも戦争で傷つくのは子供たちであり、女の人たちである」と思うと憤りに胸が熱くなる。

この度のブッシュさんの「苦渋の決断」といい、小泉さんの「武力行使支持」の経過に、戦争の正当性は誠に疑わしいと言わざるを得ない。一日も早く平和の回復を祈りたい。(ご一読をお薦めします)

ひとくち モ

良いお父さんですか？

おやじ教育20ヶ条

満点お父さんの10ヶ条

— よい父親のあり方

- 1 おとせ雷 あつさり
- 2 大事なときに、ボロリと一言の父
- 3 耐えること、待つこと、決断することを教える父
- 4 自分の生き方に誇りを持つ父
- 5 いい父のまえに、いい夫である父
- 6 話す父より、話せる父
- 7 イエスとノーがはっきり言える父
- 8 ユーモア、冗談がわかる父
- 9 スパルタ式でも、放任主義でもない父
- 10 聞く耳を持ち、辛抱と貧乏の味を知らず父父親は10人の先生に匹敵する。

ダメおやじの10ヶ条

— 子供の成長の芽を止める父親とは

- 1 子供にでもたい父
 - 2 母ちゃんまかせ、民主的パパ
 - 3 正面切つて言わず、陰でコソコソ言う父
 - 4 母高父低の父
 - 5 手伝いさせない父
 - 6 子どもの失敗をけなす父
 - 7 逆境を与えない父
 - 8 武者修行をさせない父、手は離せ、目は離さない父
 - 9 子どもの長所を見つけれない父
 - 10 不平不満ばかりならべている父
- 一言で言えば甘えん坊をつくるな。

次回は母親教育20ヶ条を紹介しましょう。

子育て井戸端会議より

